

私たちの未来

村内の子どもたちに
将来の伊江島について聞いてみました。



西小学校6年
なかむら れん
中村 蓮
(川平区)

ぼくが考える将来の伊江島は、縁があって活きがあり、平和でだれもが楽しく暮らせる村です。ぼくは、南城市から転入したので、那覇と伊江島間を結ぶ車のれる高速艇があるととても便利になり、又、伊江島空港から飛行機が飛びといいと思います

★将来の夢★

獣医師になりたいです。そのためには、色々な動物と触れ合っていきたいです。



伊江小学校6年
おなは りょうと
小那霸 瑞斗
(東江上区)

ぼくは、将来伊江島がどの人たちからも人気になってほしいです。そのためには、伊江島にしかない食べ物をつくり、スーパーなどで販売した方がいいと思います。なぜなら、観光客がもっと増えると思ったからです。

★将来の夢★

僕の将来の夢は、バスケット選手になることです。
そのためには、毎日何本もシュートを決め、強くなっていきたいです。



伊江中学校2年
うえま にい
上間 仁来
(川平区)

私は、この伊江島の世界にほこれる海を、何十年たっても守りたいです。そのため伊江島に来た民泊や観光客の皆さんにサンゴの植え付け体験などをしてもらって伊江島の海について関心を持ってもらえるようにしたいです。また子ども会などで積極的に海浜清掃を行い、伊江島の美しい海に关心を持ってもらう事で海を大切にしてもらえてだと思います。

★将来の夢★

自分の将来の夢はまだ決まっていませんが、父や母のように自分が一生夢中になれるような仕事につきたいと思います。そのため今はから、色々なことを見て、体験して自分が心から自信を持ってやりたいという仕事につきたいです。

意見書第1号

在沖米軍によるパラシュート 高高度降下訓練中におけるフェンス外への パラシュートの落下事故に対する意見書

4月3日午後6時20分頃、在沖米軍によるパラシュート高高度降下訓練中において、隊員のパラシュートが開かず、切り離したパラシュートがフェンスから約150m離れた提供施設外の牧草地に落下した。落下した場所から民家は、わずか50mしか離れておらず、付近は農作業に従事する方や車両が往来する場所であり一步間違えば大惨事となる可能性もあった。特に今回は提供施設外への落下であり、断じて許されるものではない。昨年11月16日にはパラシュート降下訓練中の米兵2人が強風に煽られ民家から約350m離れた提供施設内の牧草地に落下した。

伊江村議会は、度重なるパラシュート落下事故及び在沖米軍による事件・事故に対し、これまで幾度となく再発防止を強く要請してきたにもかかわらず、今回の事故が発生したことは極めて遺憾であるとともに、米軍の認識の甘さと米兵に対する安全教育、徹底指導がなされていないことを証明するものであり、強い憤りを感じる。

よって、本村議会は村民の尊い生命及び財産、安全・安心な生活を守る立場からフェンス外へのパラシュート落下事故に厳重に抗議するとともに、本事故の原因究明と再発防止を強く要求する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年4月19日

沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官
沖縄及び北方対策担当大臣、外務省特命全権大使、沖縄防衛局長

※上記同様に抗議決議を米軍関係機関へ提出しました。

